

# 米国分散投資戦略ファンド

(1倍コース/3倍コース/5倍コース)  
愛称「USブレイン1/ USブレイン3/ USブレイン5」



## コロナショック下でも堅調な「USブレイン」

平素より「米国分散投資戦略ファンド（1倍コース/3倍コース/5倍コース）」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。当ファンドの実質的な運用会社である、TCWアセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー（以下、TCW）提供のデータおよび情報を基に足元の運用状況等をご紹介します。

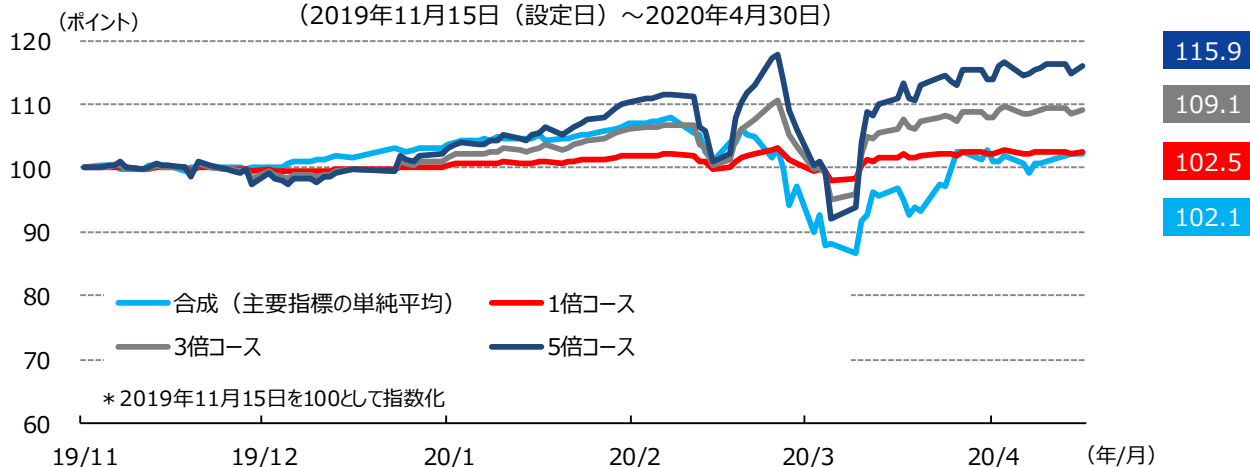
### コロナショック相場においても堅調に推移する基準価額

#### 【2020年3月に2ケタのリターンを達成】

- 2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の後退懸念に加え、信用リスクの高まりや投資家の流動性確保の動きから、株式などのリスク資産のみならず幅広い資産が総じて下落する展開となりました。このような環境下、**当ファンド（5倍コース）は2020年3月に2ケタのリターン（12.1%）を達成**しました。
- 当ファンドは、**AI（人工知能）の判定に基づき、月次で機動的に基本ポートフォリオの見直し**を行っています。2020年3月の好成績は、**基本ポートフォリオのリスク資産の配分を引下げた**ことなどが要因です。

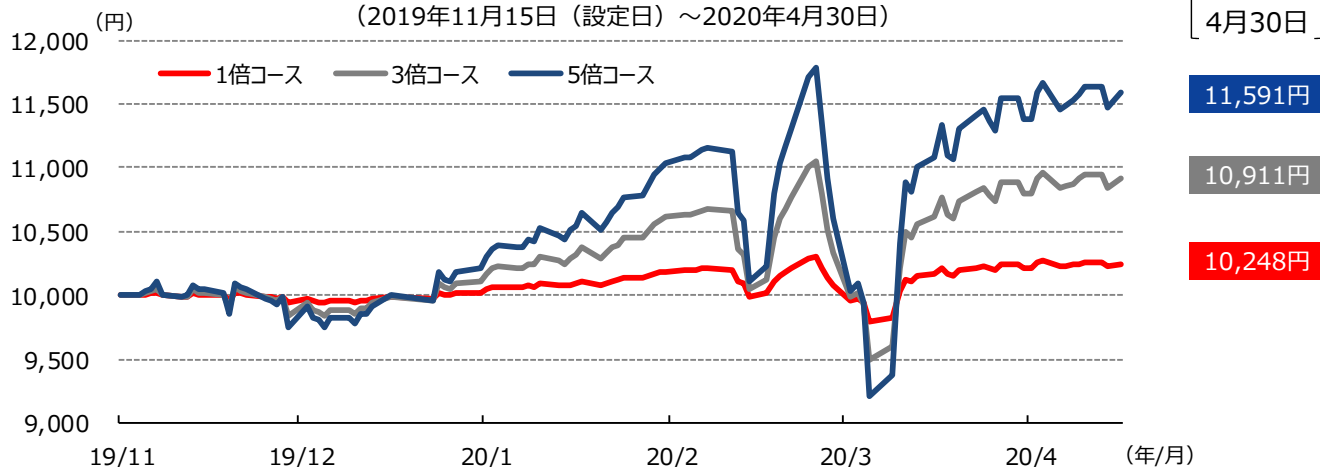
#### 当ファンドと主要指標の推移

(2019年11月15日（設定日）～2020年4月30日)



#### 基準価額の推移

(2019年11月15日（設定日）～2020年4月30日)



(注1) 基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。(注2) 当ファンドは2020年4月30日現在で分配を行っておりません。

(注3) 市場環境や設定・解約などの資金動向により、「3倍コース」、「5倍コース」のリターン水準はそれぞれ「1倍コース」のリターンの3倍、5倍になるものではありません。

(注4) 合成（主要指標の単純平均）は、米国株式、米国国債、米国リート、金先物指数を単純平均して算出。米国株式はS&P500、米国国債はICE BofAML米国10年国債、米国リートはDow Jones 米国リート、金先物は金米ドルスポット価格。各指数とも米ドルベースのトータルリターンを使用。

(出所) Bloomberg, ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは5ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

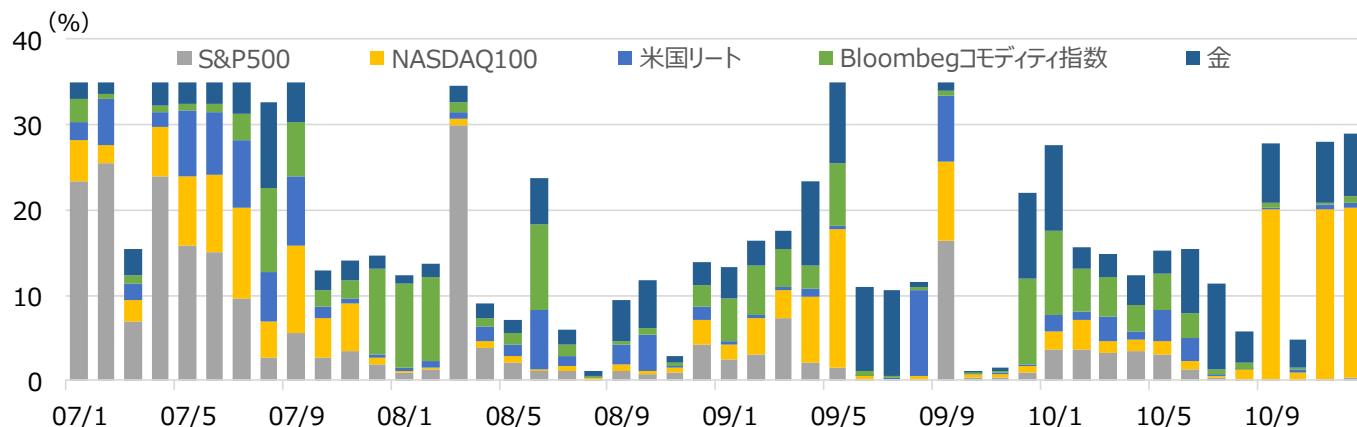
## リーマンショック前後も堅調なパフォーマンス

## 【3倍、5倍コースは株式回復局面でも株式と遜色ない好成績】

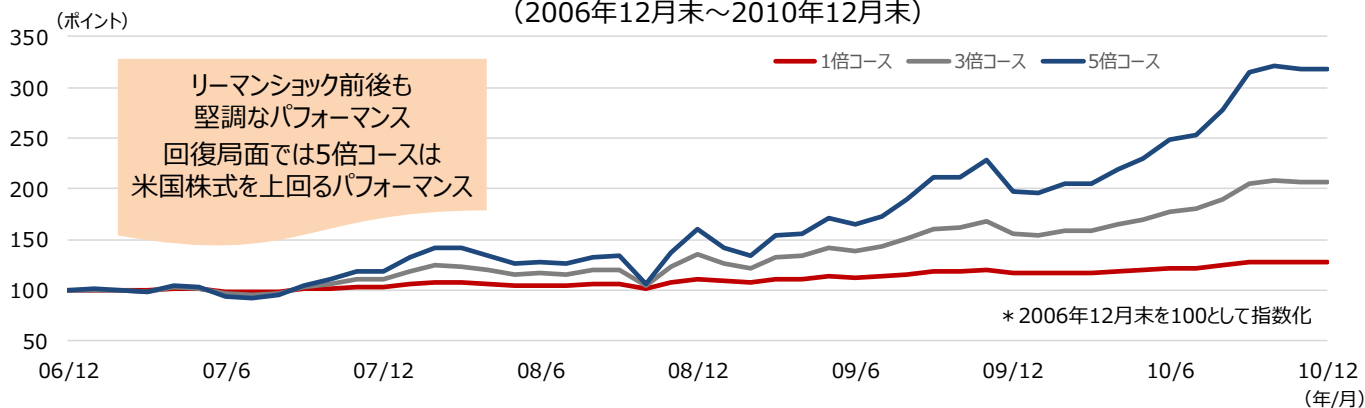
- 当戦略\*のバックテストでは、リーマン・ブラザーズが経営破綻した2008年9月前後も堅調なパフォーマンスを示しました。1か月前の同年8月には、米国債券の組入比率を98.9%まで引上げ、リスク回避を図りました。米国株式は、リーマンショック前後の高値から安値（2007年10月末～2009年2月末）までに約51%下落しましたが、当戦略は、同期間に1倍コースで約5%、3倍コースで約15%、5倍コースで約22%上昇しました。
- 当ファンドは、米国債券、米国株式、米国リート、コモディティの保有比率を機動的に調整し、株価の大幅な下落局面においてもリスクを最小限に抑制するポートフォリオを目指しています。

\* 当ファンドが採用する戦略で、最小リスクでの運用を目的に設計されたAIを利用したTCW独自のアセットアロケーション戦略。

### ＜リーマンショック前後の基本ポートフォリオ（1倍コース）のリスク資産の推移＞ （2007年1月～2010年12月）



### ＜当戦略のパフォーマンスの推移＞ （2006年12月末～2010年12月末）



### ＜当戦略と米国株式の騰落率＞

期間	当戦略			米国株式
	1倍コース	3倍コース	5倍コース	
2007年10月末～2009年2月末	5.3	14.9	21.6	-50.9
2009年2月末～2010年12月末	18.6	69.4	137.4	77.8

(注1) 当戦略のバックテストで使用した指数は次の通りです。米国株式：S&P500トータルリターン、NASDAQ100トータルリターン、米国債券：ICE BofAML米国10年国債、Bloomberg Barclays ジニ・メイ30年トータルリターン、米国リート：Dow Jones 米国リートトータルリターン、コモディティ：Bloomberg商品、S&P GSCIゴールド（エクセスリターン）。Bloomberg商品、S&P GSCIゴールド（エクセスリターン）以外は米国短期金利（3か月）を控除した先物理論価格を使用。

(注2) 米国株式の騰落率は、S&P500トータルリターン、米ドルベース。

(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

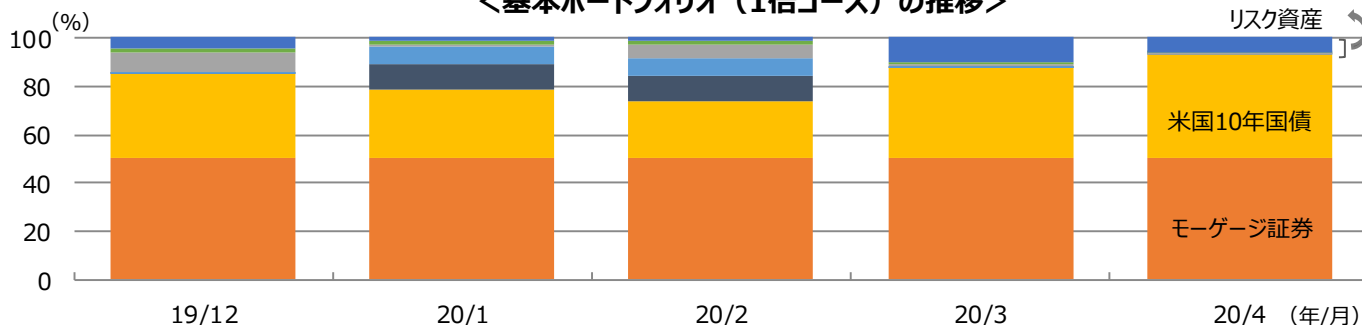
※ 上記は過去のデータを基にTCWが行ったバックテストの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。一定の前提条件に基づくものであり、信託報酬以外の経費は考慮されていません。実際の運用においては、市場動向等の諸条件が異なることによりパフォーマンス等は大きく異なります。※ レバレッジ効果により、常にプラスとなるわけではありません。マイナスのリターンとして大きく影響することがあります。先物の値動きにより、現物のみに投資する場合と比較して、ファンドの利益または損失の幅が拡大します。

## AIはなぜ2020年3月にリスク回避を強める資産配分をおこなったのか？

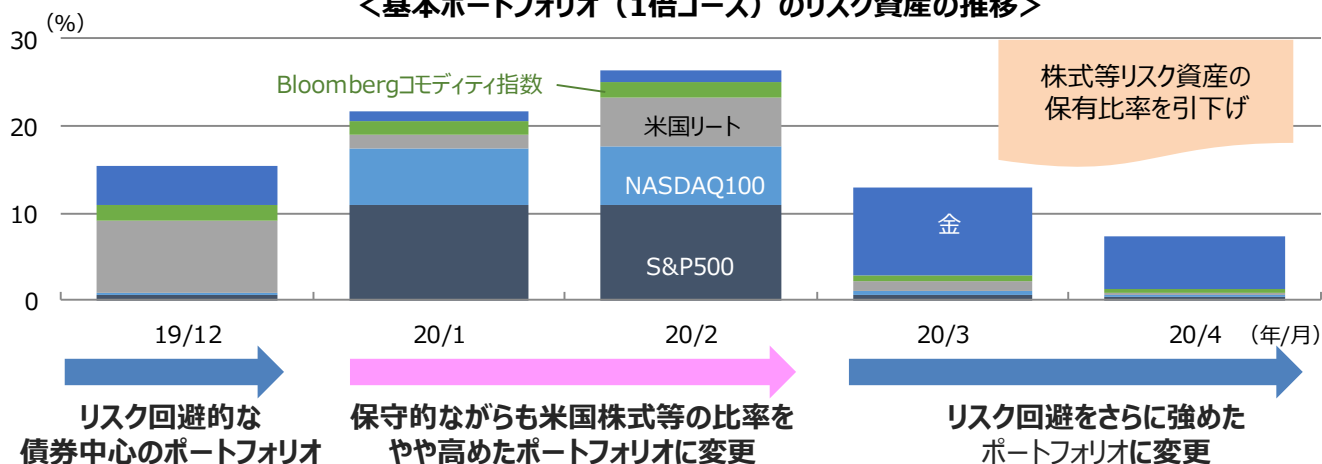
### 【ヒトでは判断に迷うような状況でも過去のデータからの確に分析】

- 2020年2月末時点では、経済指標等から新型コロナウイルス問題を分析するのは困難な状況でした。しかし、株式やREITなどは2020年2月下旬に大きく変動したため、AIは過去のインデックスの動きなどから下落抑制の資産配分を予測し、**株式の組入比率を大幅に引下げ、金の組入比率を基本ポートフォリオの上限である10%へ引き上げ**ました。金は他のリスク資産の変動率が上昇する場合には値上がりする傾向があり、分散効果も考慮し上限まで組み入れたと考えられます。
- 新型コロナウイルス問題の世界経済への影響を予測することは困難ですが、AIは過去の膨大なデータを分析することで**ヒトでは導き出しにくい最適なポートフォリオの構築**を図ります。当ファンドでは、2020年4月にも米国株式等のリスク資産の配分を引下げ、**リスク資産の配分は約7%（1倍コース）と2019年11月の運用開始以来最低の比率**となりました。

＜基本ポートフォリオ（1倍コース）の推移＞



＜基本ポートフォリオ（1倍コース）のリスク資産の推移＞

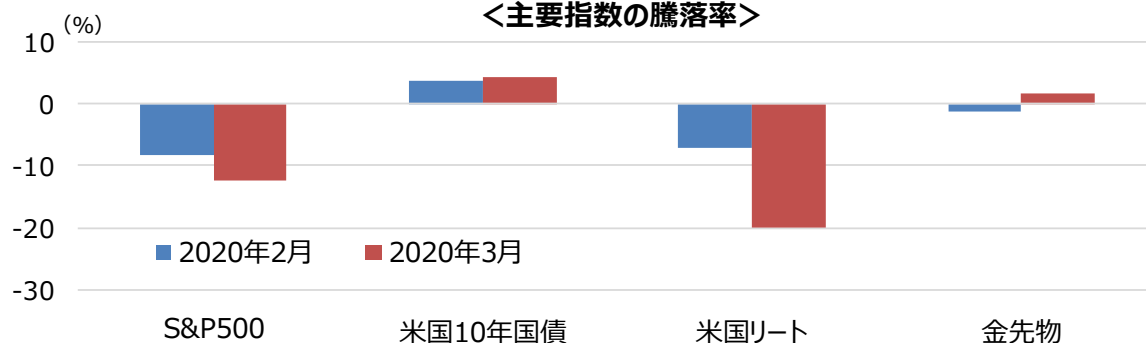


リスク回避的な  
債券中心のポートフォリオ

保守的ながらも米国株式等の比率を  
やや高めたポートフォリオに変更

リスク回避をさらに強めた  
ポートフォリオに変更

＜主要指数の騰落率＞



(注1) 各資産への投資にあたっては、主に先物取引等を活用します。市況動向、各資産の流動性等によっては、各種指数等に連動するETF、または各種指数の構成銘柄およびその先物取引等を通じて投資を行う場合があります。

(注2) モーゲージ証券への投資にあたってはジニーメイ（米国連邦政府抵当金庫）が保証するものを投資対象とし、主としてTBA取引を活用します。TBA取引とは、モーゲージ証券の先渡し取引の一種で、約定時点では受け渡し銘柄を特定せず、受渡適格銘柄や取引額面・価格・決済日等の条件のみが合意される取引です。

(注3) リスク資産は米国10年国債とモーゲージ証券以外の資産です。

(注4) 3倍コース、5倍コースは、1倍コースの基本ポートフォリオを各々3倍、5倍にした値です。

(注5) 主要指数は米ドルベース。米国10年国債はICE BofAML米国10年国債、米国リートはDow Jones 米国リート。金先物は金米ドルスポット価格。S&P500、米国リートは配当込み。

(出所) TCW、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績および当資料作成時点の計画であり、将来の運用成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※上記は1倍コースの基本ポートフォリオであり、当ファンドの実際のポートフォリオとは差異が発生します。

## バランスファンドのタイプ別の特徴

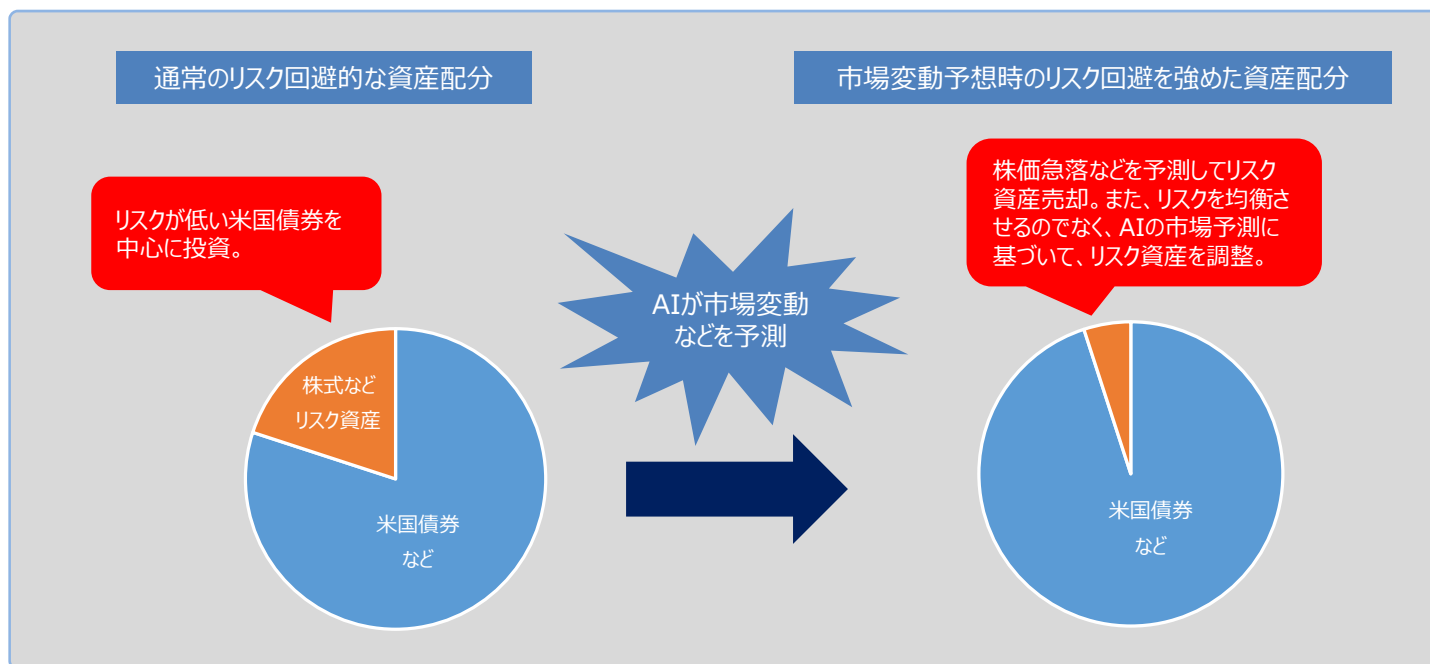
- バランスファンドは、ファンド内で様々なカテゴリーの金融商品に分散投資する投資信託ですが、投資対象の範囲や資産の配分比率などによって特徴が異なります。
- 複数の資産を投資対象としており、分散効果が高いとされるバランスファンドの中でも各資産の配分比率やリスクの水準により、主に下表のように分類されます。

運用手法	メリット	デメリット
リスクを抑制するタイプのバランスファンド	国内債券などリスクの低い資産の組入比率が高いため、株式などリスクの高い資産の下落の際にも、損失を抑制することが期待される。	リスクの低い資産の組入比率が高いため、中長期的なリターンも低くなる。また、金利が急上昇した際には、損失となる場合がある。
リスクを追求するタイプのバランスファンド	世界株式などリスクの高い資産の組入比率が高いため、中長期的なリターンの獲得を期待される。	世界の株式市場が下落した際には、低リスクのバランスファンドと比較して、下落率が大きくなる。
当ファンド	<b>下落リスクを抑えた債券重視型のポートフォリオが基本。</b> 3倍および5倍のレバレッジ運用を行うコースでは、 <b>株式市場などと異なる推移をしながらレバレッジによる収益性追求によって、中長期的なリターンの獲得が期待される。</b>	金利が急上昇した際には、損失となる場合がある。

## 当ファンドのアロケーションの優位点とは

- 当ファンドは、**過去20年超の各資産の推移、変動率や重要経済データを基に、現在が過去のどの局面に近いかを判断し、下落抑制に重点を置いたポートフォリオの構築**を目指します。
- この構築手法により、各資産の**直近の価格変動動向にとらわれることのないポートフォリオの構築**を目指します。
- 保守的に下落リスクを抑えることを目指したポートフォリオを基本として、**収益性を高めるためにレバレッジを3倍、5倍としたファンドを提供**しています。

### <当ファンド（1倍コース）のアロケーション（イメージ図）>



※上記の表は主な特徴を分類したものであり、すべてのケースに当てはまるとは限りません。上記の図はイメージであり、実際と異なる場合があります。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

**ファンドの特徴（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）**

- 1 米国の株式、債券および不動産投資信託（リート）ならびにコモディティ等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。
- 2 リスク水準の異なる3コースからお選びいただけます。

「3倍コース」および「5倍コース」は実質的に信託財産の純資産総額以上の投資を行います。そのため市場環境等によっては基準価額が大きく変動または著しく下落する可能性がありますので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

- 3 実質的な運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが行います。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

**ファンドのリスク（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）****[基準価額の変動要因]**

当ファンドは、投資信託証券を通じて実質的に債券、株式、リート、コモディティなど値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。基準価額の主な変動要因として、○レバレッジに関するリスク（3倍コース・5倍コース）、○株価変動に伴うリスク、○金利変動に伴うリスク、○信用リスク、○為替リスク、○流動性リスク、○不動産投資信託（リート）投資のリスク、○資産担保証券投資のリスク、○商品市況の価額変動に伴うリスク等があります。

**お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）**

購入・換金の申込受付日	原則として、申込不可日を除きいつでも購入、換金の申込みができます。
購入単位	販売会社または委託会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目以降にお支払いします。
申込不可日	ニューヨークの取引所またはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合は、購入、換金の申込みを受け付けません。
決算および分配	年2回（毎年5月および11月の10日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
信託期間	2019年11月15日から2029年11月12日まで

**ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）****① 投資者が直接的に負担する費用**

購入時手数料	購入価額に <b>3.3%（税抜き3.0%）</b> を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額。 購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。）については販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

**② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用**

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に <b>年1.1825%（税抜き1.075%）</b> の率を乗じた額 ※投資対象とする投資信託の信託報酬等を含めた場合、1倍コースは <b>年1.3225%（税込み）程度</b> 、3倍コースは <b>年1.6025%（税込み）程度</b> 、5倍コースは <b>年1.8825%（税込み）程度</b> となります。 *各ファンドの外国投資信託証券への組入比率に応じた実質的な運用管理費用（信託報酬）の概算値です。実際の外国投資信託証券の組入比率によっては、実際の実質的な信託報酬率は変動します。
その他の費用・手数料	上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

※ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

**委託会社、その他の関係法人**

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 <コールセンター>：0120-88-2976 <受付時間>：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） <ホームページ>： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a>
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	委託会社にお問い合わせください。（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

## 販売会社一覧

販売会社名	登録番号		日本証券業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業 協会	備考
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第6号	○		○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○		
木村証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第6号	○				
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○	○			※1
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○			○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○			○	
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第44号	○				
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第7号	○				

※1：2020年5月20日よりお取扱いを開始する予定です。

## 【重要な注意事項】

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2020年4月30日